

GW 7つの卵

追加型投信／内外／資産複合 自動けいぞく投資適用



設定・運用は

日興アセットマネジメント

日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

携帯電話でも情報を提供しております

日興AM携帯電話サイト

<http://nkam.jp/>



目 次



分散投資の考え方 2



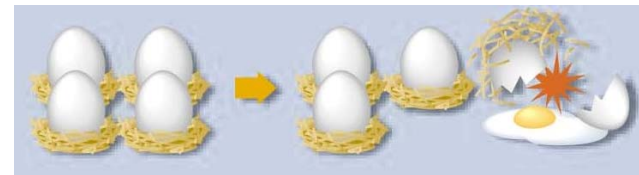
GW7つの卵 商品内容について 6



GW7つの卵 運用状況について 13

分散投資の考え方

投資の格言「すべての卵をひとつの籠にいれるな」
～Don't put all your eggs in one basket.～

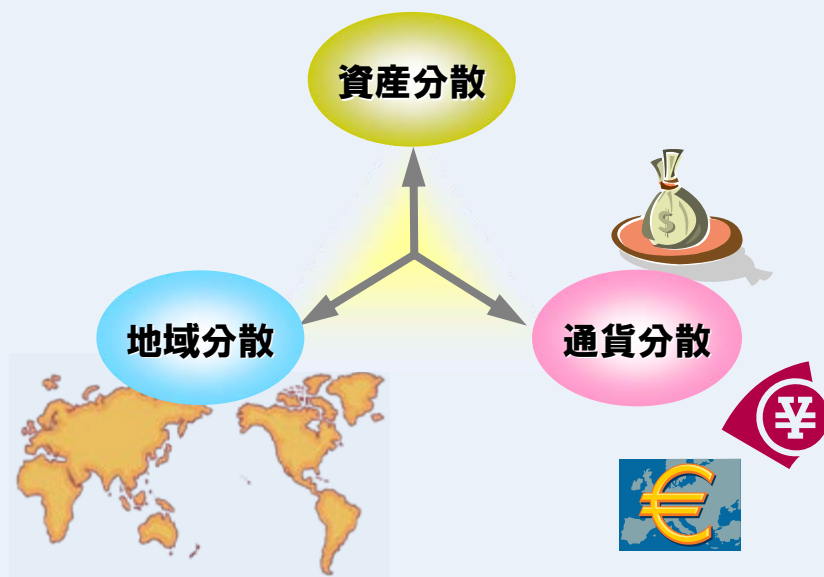


資産をさまざまな観点から分けて投資をすること＝「分散投資」

分散投資は、資産運用を考える上で重要なポイントと言えます。分散投資を行なうことにより、単一資産を集中して持った場合に比べ、保有している資産全体のリスクを抑える効果が期待できます。

【分散投資の具体例】

異なる値動きをする傾向がある投資対象への分散方法には、主に以下のようなものがあります。



■資産分散

株式と債券など、投資対象となる資産を分散させる方法です。
資産ごとに値動きの傾向が異なることから、分散効果が期待できます。

■地域分散

日本と海外など、投資対象となる地域を分散させる方法です。
地域によって経済状況などが異なることから、分散効果が期待できます。

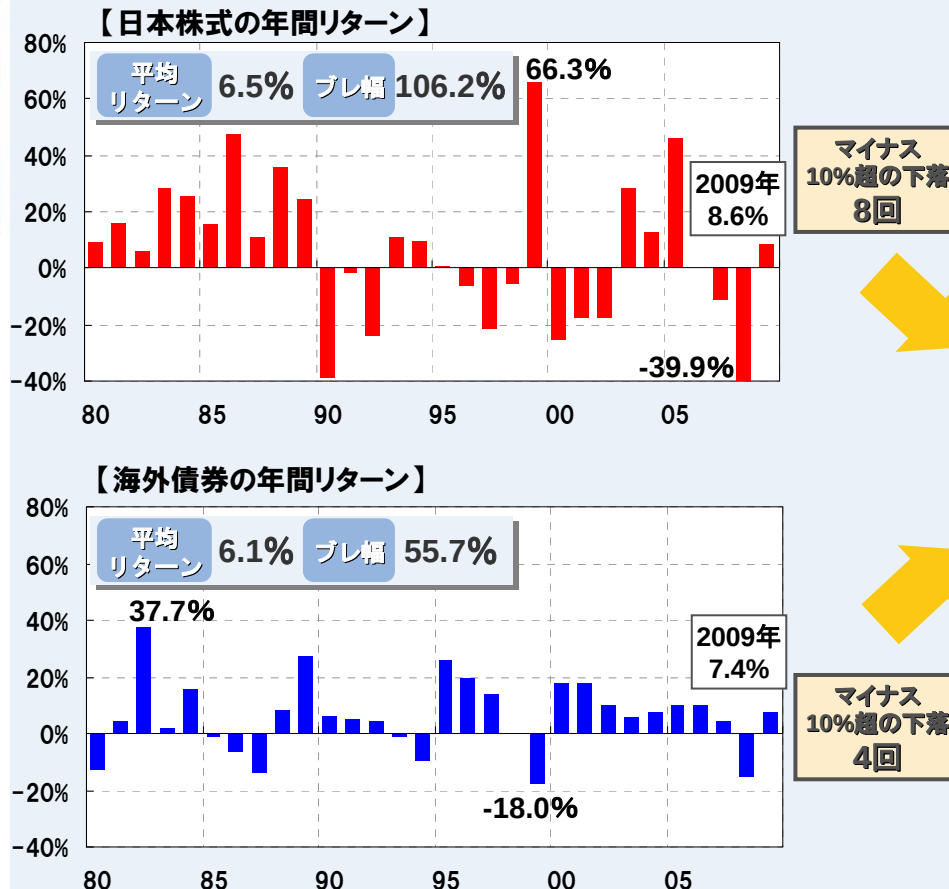
■通貨分散

米ドルとユーロなど、投資対象となる通貨を分散させる方法です。
通貨によって値動きが異なることから、分散効果が期待できます。

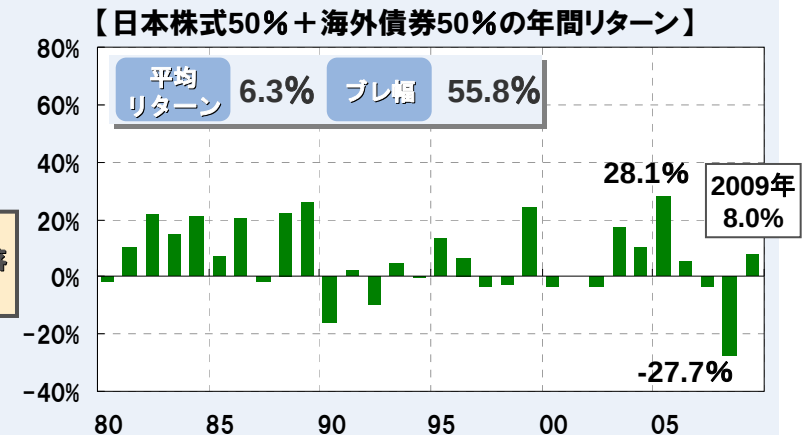
●上記の方法を複数組み合わせることも効果的な方法とされています。また、上記に紹介した以外の分散の方法もあります。

分散投資の効果

- 値動きの異なる傾向にある資産を組み合わせると、お互いの値動きを打ち消し、ブレ幅(=リスク)を小さくする効果が期待できます。
- 分散投資をしたとしても一時的に大きな変動となる場合もありますが、異なる特性を持つ資産をあわせ持つことにより、中長期的には、リスクを抑えながら収益性を高める効果が期待できます。



分散投資を行なうことで、
ブレ幅(リスク)は海外債券と同程度となり、
平均リターン(収益性)は海外債券を若干上回る。



- ここでいう「ブレ幅」とは、期間内の最大値と最小値の絶対値の合計を表示しています。
- データ取得期間：1980年～2009年
- グラフは下記インデックスを用いて日興GWが算出したシミュレーションです。
日本株式：日興バーラ・スタイル・インデックス(総合)、
海外債券：シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース※)
※シティグループ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、日興GWが独自に円換算。
- ※ グラフおよびデータは、過去のものまたはシミュレーション結果であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

各資産のパフォーマンス

- 株式や債券の価格は、景気や企業業績、心理要因などのさまざまな影響を受けて変動します。また、各資産の上昇と下落のタイミングには、必ずしも法則性はなく、常に一方向だけに動く資産也没有ありません。
- 資産運用においては、1つの資産に集中するのではなく、複数の資産を組み合わせることが、ブレを抑えながら収益性を高めるために有効な運用手段と考えられます。

【各資産の年間リターン】

(1988年～2009年)

(%)

	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
日本大型株式	37.0	19.0	-39.8	-0.9	-22.9	11.4	8.2	2.2	-5.8	-16.6	-7.1	71.1	-28.0	-19.6	-18.5	25.2	10.1	43.9	3.6	-10.4	-40.9	8.1
日本小型株式	29.7	59.0	-32.8	-5.0	-28.8	7.4	16.9	-5.5	-11.1	-46.1	1.7	35.0	-8.4	-7.1	-10.9	43.9	29.2	58.8	-19.2	-17.6	-34.0	11.4
日本債券	5.9	-0.9	2.5	12.1	10.2	12.9	-1.5	12.1	4.9	5.5	0.5	5.4	2.0	3.2	3.3	-0.7	1.3	0.7	0.2	2.7	3.2	1.5
北米株式	19.5	50.6	-8.4	19.6	6.1	-1.2	-9.1	41.7	39.9	48.9	11.9	12.0	-1.5	0.5	-29.7	17.5	6.4	23.2	16.6	0.9	-49.5	32.8
欧州先進国株式	19.8	48.5	-8.8	4.7	-4.3	16.0	-8.2	26.3	36.8	39.1	11.8	5.5	2.5	-7.8	-25.8	25.7	16.1	26.6	35.6	7.3	-56.2	40.5
アジア太平洋先進国株式	34.3	31.6	-15.6	29.5	6.7	62.1	-22.8	17.9	36.6	-24.0	-17.6	25.8	-5.4	3.9	-14.7	32.8	23.9	32.3	34.4	23.5	-59.5	77.7
海外債券	8.1	27.6	6.4	5.3	4.4	-1.3	-9.8	25.8	19.5	13.7	-0.1	-18.0	17.7	17.8	10.3	5.7	7.3	10.1	10.0	4.5	-15.5	7.4

：上昇

：下落

※表・データは、過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※表は、各年次の騰落率を示したものです。

※各資産の騰落率の算出に使用したインデックスについては、後述の「ベンチマーク・インデックスについて」をご覧ください。

GW7つの卵

商品内容について



GW7つの卵 ファンドの特長

1 世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行ないます。

◆7つの資産に分散投資することにより、リターンの安定化をめざします。

※資産配分は、日興グローバルラップ株式会社(日興GW)の助言をもとに日興アセットマネジメントが行ないます。

2 各資産はそれぞれの分野に強みをもつ専門家(運用アドバイザー)が運用します。

◆世界の運用会社(投資顧問会社)の中から資産ごとに強みを持つ運用アドバイザーを選定し、その後も運用状況をモニタリング(監視)することでファンドの品質維持に努めます。
また、必要な場合には運用アドバイザーの交代を行ないます。

※運用アドバイザーは、日興GWのファンド・アナリストが評価・選定した投資顧問会社の中から、日興アセットマネジメント アメリカズ・インク (NAM アメリカズ)からの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが決定します。

3 情報提供サービスを充実させています。

◆定期的に「マンスリーレポート」「四半期レビュー」「スペシャルレビュー」などを作成し、お客様をしっかりサポートします。

1

世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行ないます。

7つの資産に分散投資しながら効率的な資産配分を構築することで、リスク低減を図りながら、リターンの安定化をめざします。

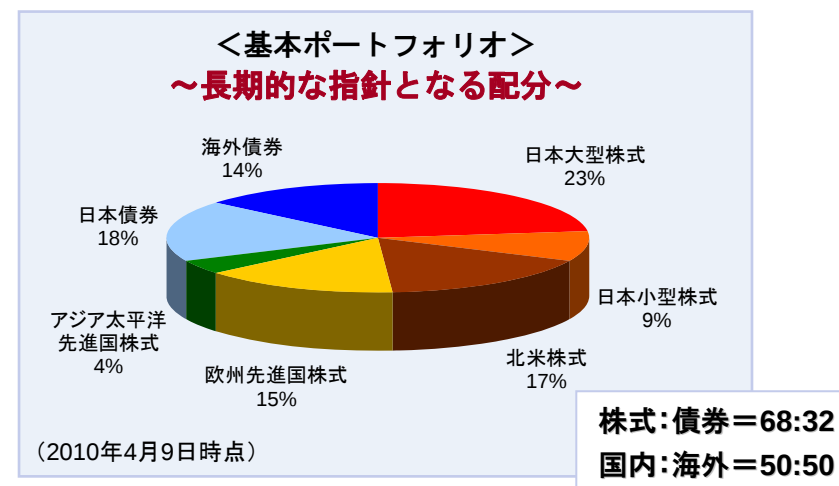
投資対象となる7つの資産

	株 式	債 券
国 内	日本大型株式	日本債券
	日本小型株式	
海 外	北米株式	海外債券
	欧州先進国株式	
	アジア太平洋 先進国株式	

7つの資産の選定に際しては、

- ・地域による分散
- ・資産による分散
- ・専門性を有する運用アドバイザーの存在などを考慮しています。

効率的な資産配分の構築



さらに

中期的な見通しに基づき配分調整

配分調整は随時行ないます。

●資産配分は、日興GWの助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。

※実際の資産配分比率は、現金などの保有や時価変動などの理由で変化します。
詳細は後述およびマンスリーレポートなどをご覧ください。

2

各資産はそれぞれの分野に強みをもつ専門家(運用アドバイザー)が運用します。

各資産の運用は、運用アドバイザーが担当することで、より高い運用成果をめざします。

「GW7つの卵」の運用アドバイザーは、資産運用の選抜チームです。

	【運用アドバイザー】				
	日本大型株式	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 世界最大級の 総合金融サービスグループの資産運用会社		北米株式	ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー  JANUS 独自のリサーチで情報優位性を獲得し投資機会を発掘
	日本小型株式	スパークス・アセット・マネジメント株式会社 徹底した企業訪問調査に基づく 投資を行なう運用会社		欧州先進国株式	MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド 米国最古の運用会社である MFSグループの英国法人 
	日本債券	中央三井アセット信託銀行株式会社  中央三井アセット信託銀行 国内の年金運用で 高い専門性を誇る信託銀行		アジア太平洋先進国株式	シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド  Schroders 英国を本拠とするグローバル資産運用グループのアジア拠点
				海外債券	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー  WELLINGTON MANAGEMENT 機関投資家向け運用サービスに特化した 独立系運用会社

※ 上記の運用アドバイザーは2010年5月18日現在のものであり、将来変更する場合があります。

日興GW

資産配分、運用アドバイザー選定に関する助言

NAM アメリカズ

運用アドバイザーに関する
助言など

日興アセットマネジメント

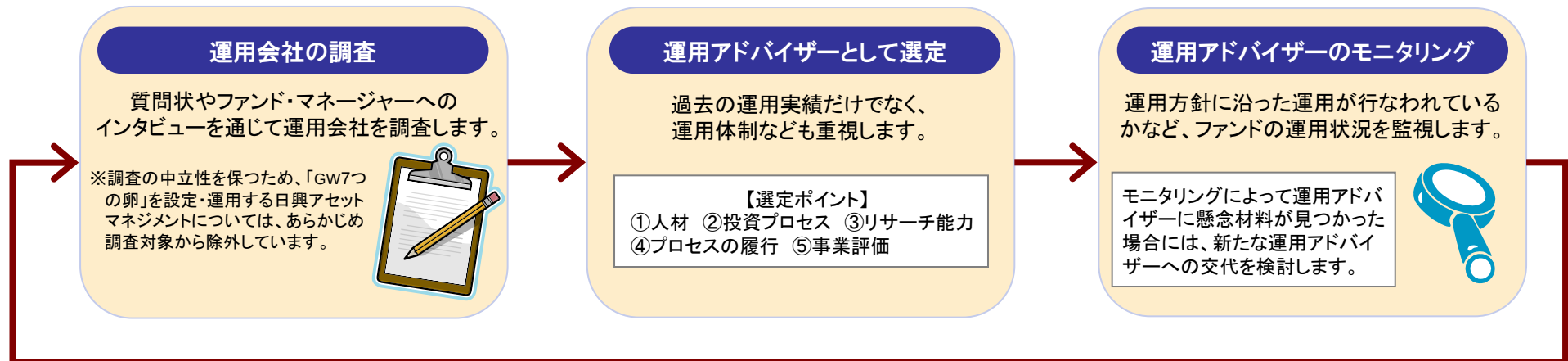
日興GWやNAM アメリカズからの助言をもとに、資産配分や運用アドバイザーを最終的に決定

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

運用アドバイザーの評価・選定プロセスについて

- 各マザーファンドの運用状況は、日興GWが日々モニタリングし、必要な場合には運用アドバイザー交代の助言を行ないます。
- 最終的な運用アドバイザーの決定は、日興GWに加えてNAM アメリカズからの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。

【運用アドバイザーの評価・選定プロセス】



●運用アドバイザー交代の際などには、暫定的に日興アセットマネジメントが各マザーファンドの運用を行なう場合があります。

【「GW7つの卵」を支える専門家群】

日興GW:日興グローバルラップ株式会社

前身の「株式会社グローバル・ラップ・コンサルティング・グループ」は1998年2月設立。1990年代に米国で急拡大した『投資信託ラップ』を日本で初めて導入。資産配分の策定や、運用会社およびファンドの評価・選定、国際分散投資に関する様々なサービスを提供しています。

NAM アメリカズ:日興アセットマネジメント アメリカズ・インク

NAM アメリカズは、日興アセットマネジメント・グループ※の傘下にあるグローバル運用の米国拠点です。「GW7つの卵」の運用アドバイザーを決定する際、日興アセットマネジメントへの情報提供や助言を行ないます。

※「日興アセットマネジメント・グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

「進化した国際分散投資」を実現

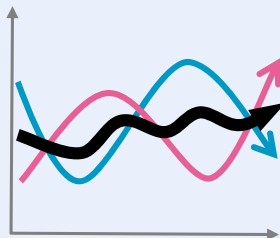
- 当ファンドでは、「資産配分」「運用会社の選定」といった専門的なサービスにより、リターン安定化とリターン向上を同時にめざします。これにより、投資タイミングを大きく選ばずに安定的にリターンを獲得することが期待できます。
- 中長期の資産形成では、このような運用手法が有効な手段であると当ファンドでは考えます。

GW7つの卵

リターン安定化のために

効率的な資産配分の構築

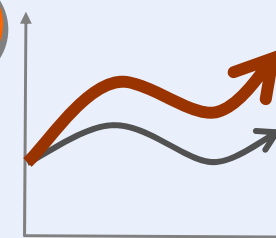
ファンド全体のリスクを抑え、
リターンの安定化をめざします



リターン向上のために

資産運用の選抜チーム

資産ごとのリターンの向上を
めざします



(図はすべてイメージです)



**「リターン安定化」と「リターン向上」の両方を同時にめざすことで、
投資タイミングを大きく選ぶことなく、安定的なリターンの獲得が期待できます。**

3

情報提供サービスを充実させています。

定期的に「マンスリーレポート」「四半期レビュー」「スペシャルレビュー」などを作成し、お客様をしっかりとサポートします。

【マンスリーレポート】

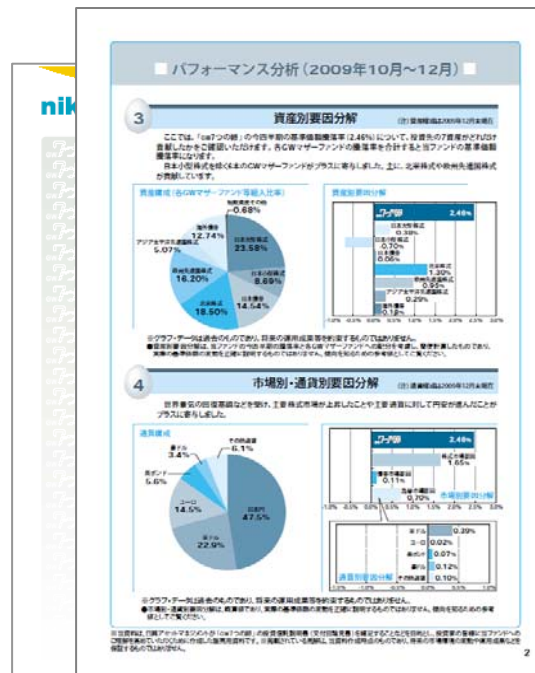
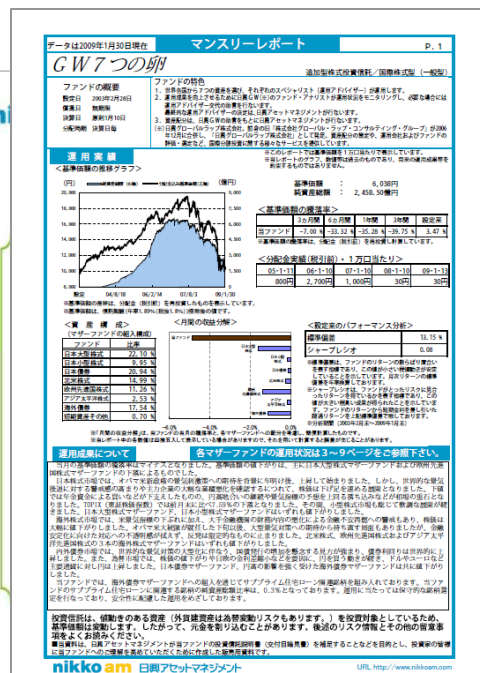
毎月の運用状況をご説明します。
(原則、毎月9営業日目)

【四半期レビュー】

四半期ごとに運用状況の分析などを行ないます。
(原則、1月・4月・7月・10月の各月末)

【スペシャルレビュー】

ファンドの決算時に1年間の運用について
ご説明します。(原則、年1回)



このほか、1週間の基準価額の騰落を示す「週次レポート」も作成しております。(原則、毎週月曜日)

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「Gw7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

GW7つの卵

運用状況について



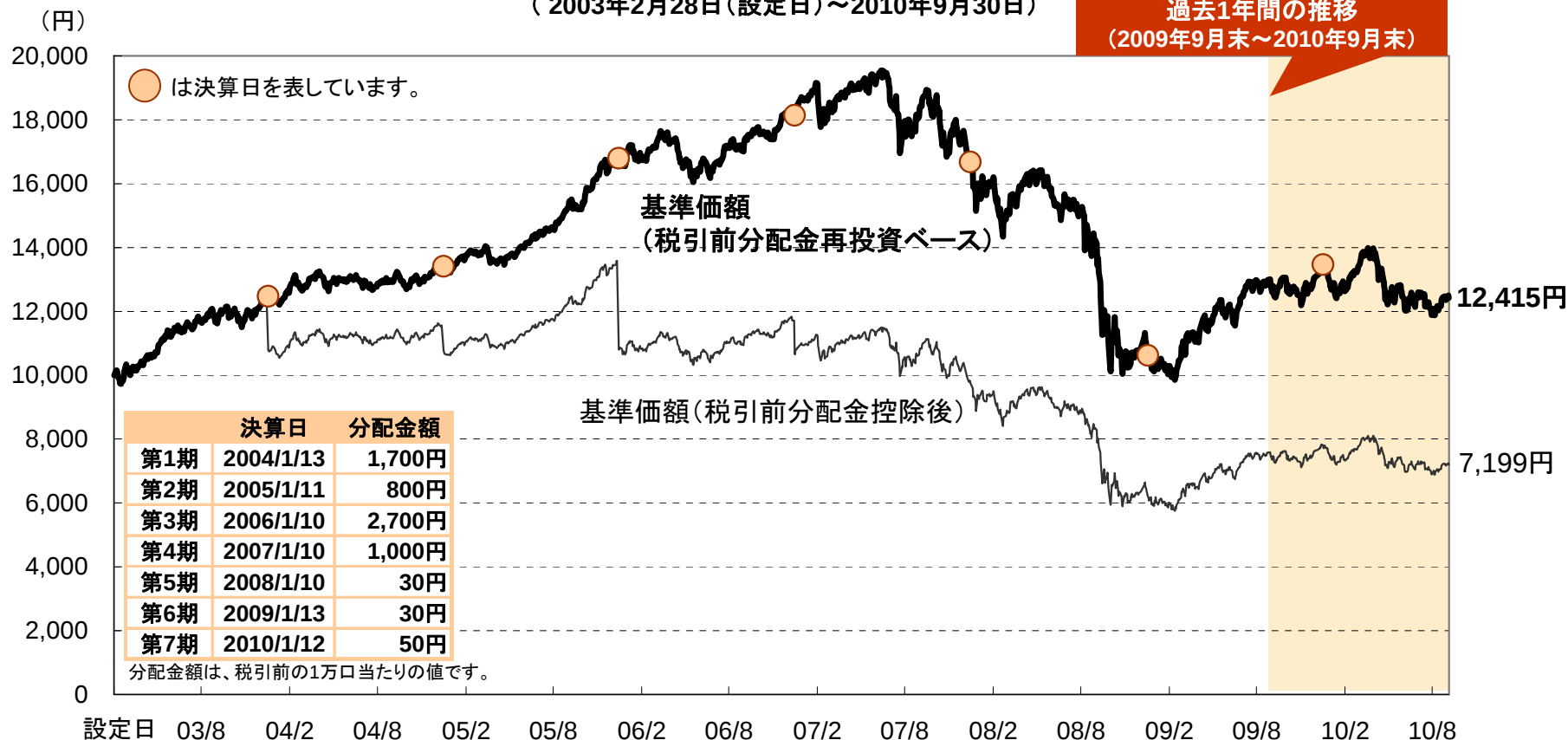
基準価額の推移

- 「GW7つの卵」の運用成果は、以下のようになっています。次ページ以降では、過去1年間の基準価額の変動要因をご説明いたします。

【基準価額の推移】

(2003年2月28日(設定日)～2010年9月30日)

過去1年間の推移
(2009年9月末～2010年9月末)



※上記のグラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※基準価額は、信託報酬(年率1.89%(税抜1.8%))控除後の1万口当たりの値です。また、分配金額は税引前の1万口当たりの値です。

※基準価額(税引前分配金再投資ベース)とは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

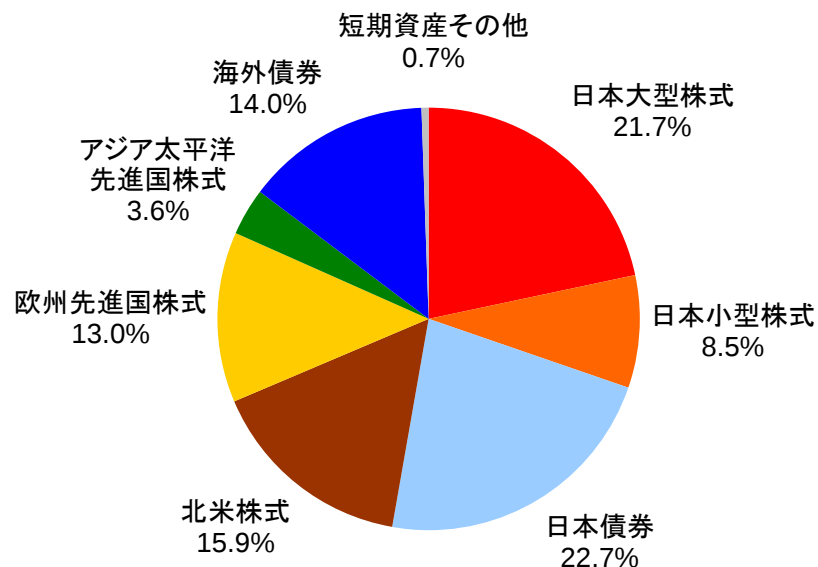
■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

資産構成と資産別要因分解＜過去1年間＞

- ここでは、「GW7つの卵」の過去1年間の基準価額騰落率(-2.98%)について、投資先の各資産がどれだけ影響したかをご確認いただけます。資産別要因分解の各GWマザーファンドの影響度を合計すると当ファンドの基準価額騰落率になります。
- 過去1年間においては、日本株式を中心に4本のGWマザーファンドのマイナスが基準価額に影響しました。

【各マザーファンドなどの組入構成】

(2010年9月末現在)



資産別要因分解＜過去1年間＞



-2.98%

日本大型株式

-1.11%

日本小型株式

-1.69%

日本債券

0.06%

北米株式

0.04%

欧州先進国株式

-0.11%

アジア太平洋先進国株式

0.05%

海外債券

-0.22%

(分析期間: 2009年9月末～2010年9月末)

※ 要因分解は、当ファンドの過去1年間の税引前分配金再投資ベースでの騰落率と各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

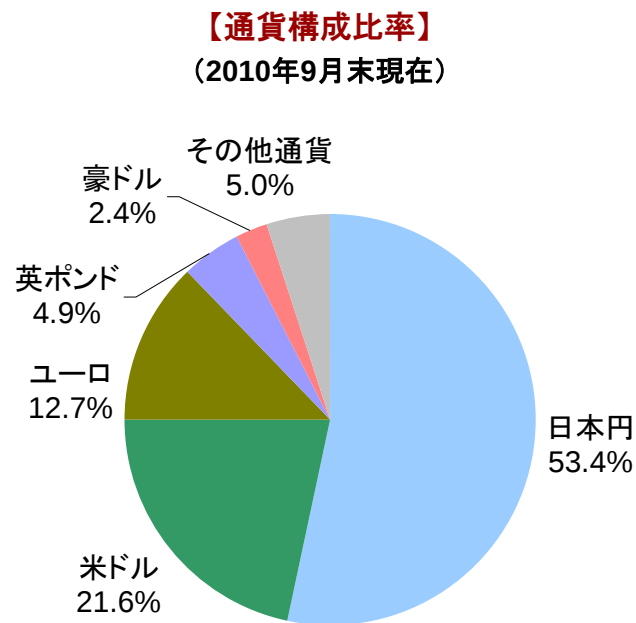
※ 各数値は四捨五入処理をして表示しておりますので、合計が100%にならない場合があります。

※上記グラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

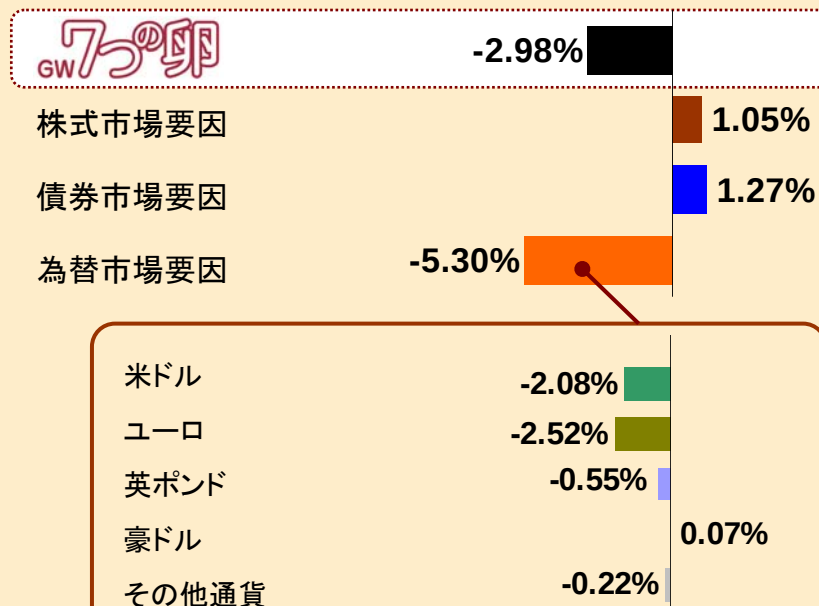
■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

通貨構成と市場別・通貨別要因分解＜過去1年間＞

- 過去1年間においては、株式、債券はプラスに寄与したものの、為替がマイナスとなりました。
- 為替市場では、主要通貨に対して概ね円高となったことから、当ファンドにおいてマイナスの要因となりました。



市場別・通貨別の要因分解＜過去1年間＞



(分析期間: 2009年9月末～2010年9月末)

※ 要因分解は、当ファンドの過去1年間の税引前分配金再投資ベースでの騰落率と各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

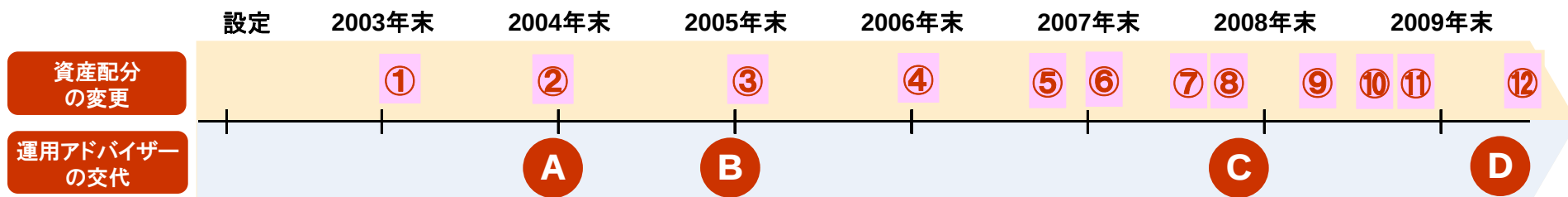
※ 各数値は四捨五入処理をして表示しておりますので、合計が100%にならない場合があります。

※上記グラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めいただくために作成した販売用資料です。

資産配分の変更と運用アドバイザーの交代履歴

- 当ファンドでは、2003年2月の運用開始以降、以下のように資産配分の変更と運用アドバイザーの交代を行なってきました。



資産配分の変更履歴

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	04年 1月	04年 12月	06年 1月	07年 1月	07年 11月	08年 1月	08年 6月	08年 10月	09年 4月	09年 7月	09年 10月	10年 8月
日本大型株式	↑	↓		↓		↓	↑	↓	↓	↑	↑	↓
日本小型株式	↓		↓	↓				↓	↓	↑		↓
日本債券	↑	↑			↑	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↑
北米株式	↓	↑		↑		↓	↑	↓	↓	↑		↓
欧州先進国株式	↓		↑	↑	↓	↓				↑	↑	↓
アジア太平洋先進国株式	↑		↓		↑	↓	↑	↓		↑		↓
海外債券	↓	↓		↓	↓	↑	↓	↑	↑	↓		↑

※見直し変更に伴ない、資産配分を引き上げた場合は↑、引き下げた場合は↓としています。

運用アドバイザーの交代履歴

- A 2004年12月**
日本大型株式 【新】JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
(JPモルガン信託銀行株式会社より社名変更)
 【旧】ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
- B 2005年12月**
北米株式 【新】キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー
 【旧】ウエリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー
- 日本債券** 【新】中央三井アセット信託銀行株式会社
(三井アセット信託銀行株式会社より社名変更)
 【旧】UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社
- C 2008年11月**
北米株式 【新】ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー
 【旧】キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー
- 欧州先進国株式** 【新】MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド
 【旧】UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社
- D 2010年5月**
海外債券 【新】ウエリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー
 【旧】PIMCO (パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

(2010年9月末現在)

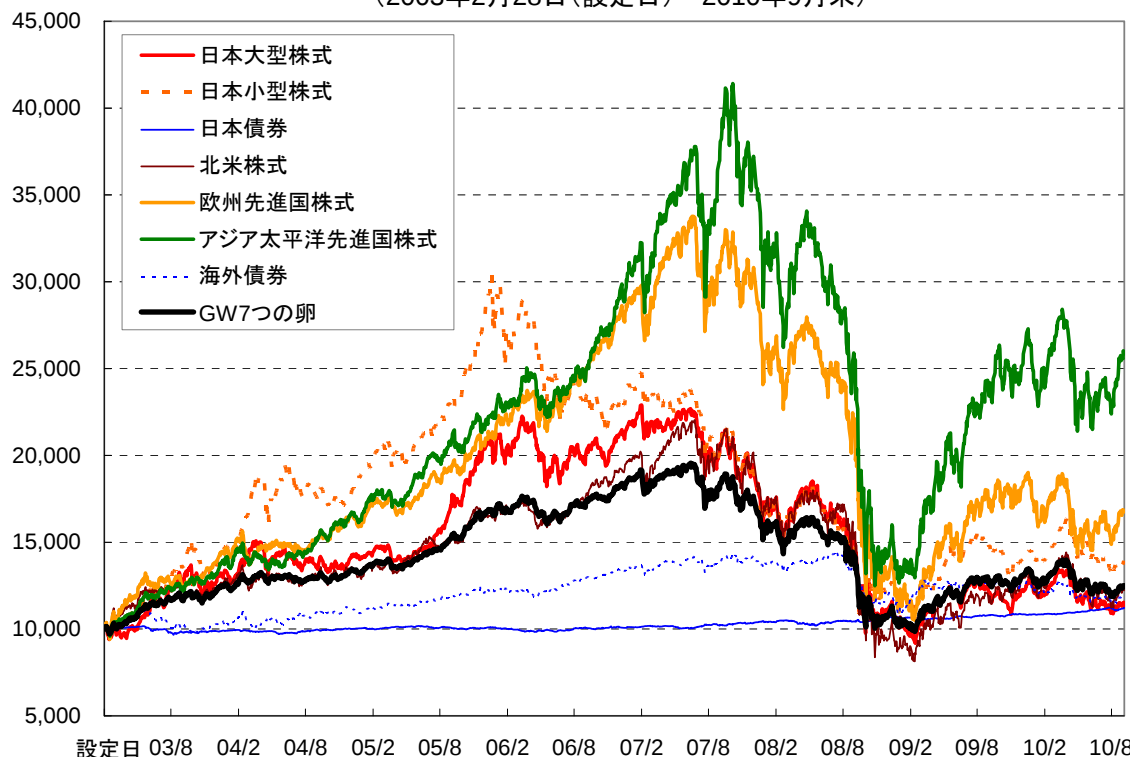
- 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

各資産の推移と資産別要因分解＜設定来＞

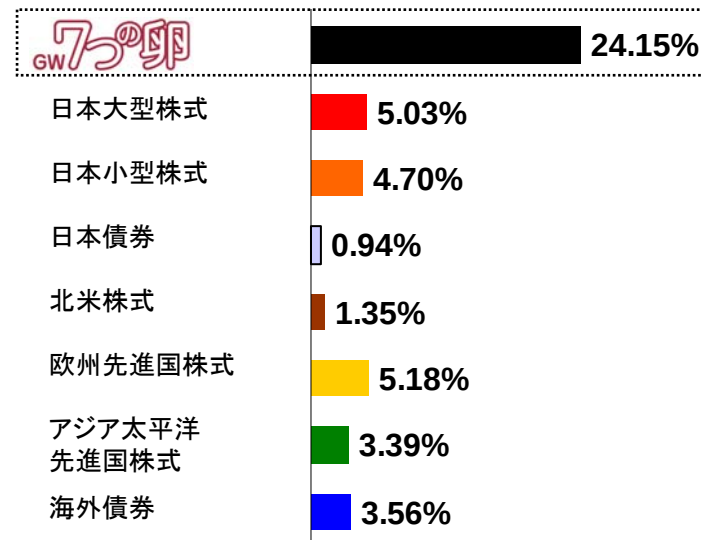
- 最後に、「GW7つの卵」の設定来の基準価額騰落率(24.15%)について、投資先の各資産がどれだけ影響したかをご確認いただけます。資産別要因分解の各GWマザーファンドの影響度を合計すると当ファンドの基準価額騰落率になります。

【基準価額と各指数の推移】

(2003年2月28日(設定日)～2010年9月末)



資産別要因分解＜設定来＞



(分析期間: 2003年2月28日(設定日)～2010年9月末)

※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※「GW7つの卵」の基準価額は、信託報酬(年率1.89%(税抜1.8%))控除後の税引前分配金再投資ベースの1万口当たりの値です。

※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※各指数は「GW7つの卵」の各資産のベンチマーク・インデックスです。設定日(2003年2月28日)の前日を10,000として指数化しています。

※要因分解は、当ファンドの設定来の税引前分配金再投資ベースでの騰落率と各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご参照ください。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

ベンチマーク・インデックスについて

ベンチマークとは、投資信託の運用の成果を測り、投資収益目標を設定する際に、基準となる指標です。当ファンドでは、以下の指数を各マザーファンドのベンチマークとしています。

【日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド】 日興バーラ・スタイル・インデックス(日本大型株式)

わが国の金融商品取引所上場株式の中で、全時価総額の上位85%に属する株式の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、各株式の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算します。

【日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド】 日興バーラ・スタイル・インデックス(日本小型株式)

わが国の金融商品取引所上場株式の中で、全時価総額の下位15%に属する株式の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、各株式の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算します。

【日本債券グローバル・ラップマザーファンド】 日興債券パフォーマンスインデックス(総合)

日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。

【北米株式グローバル・ラップマザーファンド】 MSCI北米インデックス(ヘッジなし・円ベース)

MSCI北米インデックスは、MSCI Inc.が発表している、アメリカとカナダの株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、両国市場の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。同指数の(ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

【欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド】 MSCI欧州インデックス(ヘッジなし・円ベース)

MSCI欧州インデックスは、MSCI Inc.が発表している、イギリス、フランス、ドイツなど、欧州主要先進国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、各国市場の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。同指数の(ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

【アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド】 MSCI太平洋フリー・インデックス(日本を除く、ヘッジなし・円ベース)

MSCI太平洋フリー・インデックス(日本を除く)は、オーストラリア、香港など、日本を除くアジアおよび環太平洋地域の主要先進国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、各国市場の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。同指数の(ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

【海外債券グローバル・ラップマザーファンド】 シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

シティグループ世界国債インデックス(除く日本)は、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発した、日本を除く世界の主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、残存年数1年以上の固定利付債のトータルリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。同指数の(ヘッジなし・円ベース)とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

※ 日興バーラ・スタイル・インデックスおよび日興債券パフォーマンスインデックス(総合)に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

※ MSCI指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

※ シティグループ世界国債インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクに帰属します。また、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めいただくために作成した販売用資料です。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／内外／資産複合
- お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- 信託期間 : 無期限(2003年2月28日設定)
- 決算日 : 毎年1月10日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

- お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%(税抜3.00%)を上限として、販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.89%(税抜1.8%)を乗じて得た額
- その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など
※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
- 投資顧問会社 : 日興グローバルラップ株式会社
日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
(日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド) JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社
(日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド) スパークス・アセット・マネジメント株式会社
(日本債券グローバル・ラップマザーファンド) 中央三井アセット信託銀行株式会社
(北米株式グローバル・ラップマザーファンド) ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー
(欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド) MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド
(アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド) シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド
(海外債券グローバル・ラップマザーファンド) ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
- 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については次ページ以降をご参照ください。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○	○
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○	
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○	
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第2号	○	○
S M B C フレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第40号	○	○
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長（登金）第1号	○	
株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第2号	○	
かざか証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第58号	○	
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第16号	○	○
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第14号	○	
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第8号	○	
株式会社近畿大阪銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第7号	○	
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○	○
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第593号	○	○
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号	○	○
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第8号	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○	
株式会社十八銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第2号	○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	○	
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○	○
中央証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○	
中央三井信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第21号	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○
東京海上日動火災保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第135号	○	
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第7号	○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○	
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第10号	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号	○	
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第11号	○	

(次ページに続く)

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第63号	○	
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○	
西日本シティ T T 証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○	
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○
日本興亜損害保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第140号	○	
のぞみ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第141号	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○	
ばんせい山丸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第148号	○	○
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第3号	○	
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○	○
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○	○
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○	○
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	
株式会社豊和銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第7号	○	
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第48号	○	○
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号	○	○
株式会社北國銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第5号	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第122号	○	
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第10号	○	
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○	○
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第3号	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○	

(50音順)

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

当ファンド(マザーファンドを含みます。)は、主に株式および債券など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。また、一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

■その他の留意事項

当資料は、日興アセットマネジメントが「GW7つの卵」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントの携帯電話サイトのご案内



基準価額・分配（決算）情報などのサービスを行ないます。

携帯電話から、基準価額情報や決算情報を検索いただけます。

※現在の公表範囲は追加型の公募投資信託に限定させていただいております。



基準価額を皆様の携帯電話に配信いたします。

配信登録いただいたお客様に、基準価額をメールにてお届けいたします。

※当資料でご紹介いたしました、「GW7つの卵」の基準価額もお届けしております。



アクセス、および配信登録はこちらから

右のQRコードを携帯電話で読み取っていただくか、下記の携帯電話サイトURL（アドレス）を直接入力してアクセスしてください。

※携帯電話サイトへのアクセスやメール受信などにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※メール受信に際し、ドメイン指定受信の設定をされている方は、「nkam.jp」を指定してからご利用ください。

※携帯電話の機種によっては本サービスをご利用いただけない場合がございます。予めご了承ください。

（詳しくは、日興アセットマネジメントのホームページ（<http://www.nikkoam.com/>）をご参照ください。）

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

QRコード



携帯電話サイト

<http://nkam.jp/>

Memo



